

ピグマリオンの指導方針について

教育において、たとえ「数能力を育成する」「図形能力を育成する」という目的が親にあったとしても、「人間としての心と能力を育てる教育の一部」であるに過ぎません。教育は、事実を感じ、観察し、考え、解釈する中で想像する能力が育つのです。

ピグマリオンの教育方針は、心と能力を育て上げ、素敵な大人になってもらうために必要な能力を育成することです。この方針をもとに、保護者やお子様にアドバイスをしております。

「賢い子育て」とは、親子がともに学び、ともに育つということを、親子が一緒に楽しく遊び、親子の絆を深める中で、優しく、心豊かで、明るく子育てすることです。眉間に皺を寄せながらの子育ては、長い目で見て逆効果になることが多々あります。

教育効果を上げるために、以下の注意点をご確認ください。

① 意欲を高める

意欲を高めるには、飽きさせないことと、自由で、落ち着いた精神状態を親子で保つことが大切です。

こどもが問題を間違っても、決して叱らないようにしてください。

間違っても恐れずに何回も頑張ると、必ず正しい答えに辿り着けるようになると、お子さまのやる気を誘ってあげてください。間違うたびに怒られると、こどもは難しい問題に挑戦しなくなってしまいます。(親が、子のやる気を削ぐ一番の原因になります)

② 自立心を育む

自立心していないお子さまは、学ぶことができません。親に依存しているので学ぶ必要がなく、考える必要がないからです。指先の調整能力が発達していないお子さまは。親が指先代わりになっていることが多く、わがままで、イライラしやすく、甘えん坊で自立していません。

日常生活から、お子さま自身で何でもさせるようにしましょう。

③ 教えず、学ばせる

能力は学ぶことから創造されます。覚えたことは忘れませんが、理解したことは一生忘れません。

原理をしっかり指導して、なるべく問題を一緒に解く機会を減らしてください。

ピグマリオンの基本は「教えるはいけません。学ばせてください」です。

④ 全体を注意できるようになる

本質をつかむためには、全体に注意することが大切です。全体の持っている法則性、規則性、にじみでる本質、部分と部分、全体と部分との関係など、問題解決には、全体を注意してみるのが基本です。

「早くしなさい」と焦らせず、ゆっくり思考する時間を与えてください。

その習慣が、将来的に「ほとんどの人が解けない難問が解けるようになる」「社会課題のような、正解のない問題に対して深く思考する」ことができる大人に近づいていくのです。

⑤ 人間力を高める

人間力は、自分のためにだけ能力を使うような人には定着しません。

落ち着いた、物静かな、人の話をよく聞く、明るく、自由な、自立した精神状態が、学びを生み、能力を育て、豊かで幸せな人生を育みます。

無私で、思いやり深く、信頼と尊敬と愛を勝ち得る能力ある人として、みんなの中心となり、支えとなるような、そんな人間の育成が、幼児教育の目的のはずです。

⑥ いつも笑顔で楽しく

楽しいことは意欲を高め、お子さま自身による向上力が養われ、できるようになると自信が生まれます。余裕ある精神状態は、人に優しくなれます。

笑顔で楽しそうに、大きく包み込むように、お子さまと一緒にあってレッスンを楽しんでください。内心に一切の責める心を持たないで、我が子が賢くなることだけを願いながら、進めてください。

親子で楽しく進めているご家庭のお子さまが、離脱することなく、小学生以降ぐんぐん伸びている様子を、ピグマリオンの各教室で確認しております。